

しが経産協 NEWS

No.261

2025年(令和7年)10月25日

立命館大学見学会

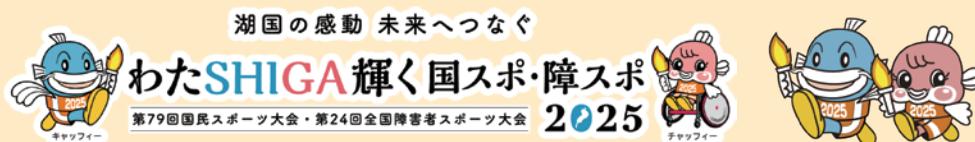
未来のチャレンジャー育成研究会



特集

未来を拓く、経産協の研究会活動

第2回一八会	P1
「京都橘大学」「立命館大学」見学会	P2
価格転嫁・取引適正化に関する取組について	P3
過労死等防止啓発月間	P3
近江の大学クローズアップ「立命館大学」	P4
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025	P5
「山科精器株式会社」医工共創アワード最優秀賞を受賞	P6
事務局人事	P6
経済指標・事務局だより	P7



未来を拓く、経産協の研究会活動

未来を拓く、現場を変える、人をつなぐ。 経産協の研究会活動、その魅力に迫る

企業の持続的成長に不可欠な「人材育成」と「現場力の強化」。滋賀経済産業協会が展開する研究会は、そのための絶好の機会です。今回は、特に注目度の高い「未来のチャレンジャー育成」と「安全マインド育成」の2つの研究会を深掘りしてご紹介します。

次世代の舵取り役を育てる 「未来のチャレンジャー育成研究会」

企業の未来を担うリーダーの育成を目指す本研究会は、今年度参加者が大幅に増加するなど、高い関心を集めています。

7月の研究会では、㈱ケンシンの田原賢氏と㈱ナカサクの中作佳正氏、二人の現役経営者が登壇。田原社長の「行動からしか何も生まれない。『悩むな！ 苦しめ！ 楽しめ！』」という言葉に象徴される挑戦の哲学や、中作社長が語った「長く続けることで誰にも真似できなくなる」という継続の力など、成功と失敗に裏打ちされたリアルな体験談に参加者は大きな刺激を受けました。

さらに9月には京都の松下資料館を訪問し、「事業は人なり」という松下幸之助氏の理念経営の本質に触れ、



参加者からは「自分自身のリーダーとしてのあり方を深く問い合わせ直す、得難い時間だった」との声が寄せら

れました。体感的な学びは、未来を託す人材にとって、大きな成長の機会となったようです。

「ゼロ災害」への挑戦！ 現場の意識を変える 「安全マインド育成研究会」

製造業の至上命題である「ゼロ災害」を目指す本研究会では、8月にパナソニック㈱くらしアプライアンス社の研修施設を訪問しました。機械に腕が巻き込まれる恐怖を疑似体験する「安全体感道場」では、危険への感性を身体で学習。

続く食洗器工場の見学では、徹底された5S活動やリスク評価に基づく安全対策、作業者の安全を第一に考えた動線の工夫などを目の当たりにし、座学で得た知識と実践を結びつけました。ルール遵守だけに留まらない、揺るぎない「安全マインド」を組織に根付かせることの重要性を学びました。



滋賀経済産業協会は、今後も企業の成長に貢献する価値ある研究会を展開してまいります。これらの活動は、社員のスキルアップはもちろん、貴社の採用活動で「入社後も異業種の仲間と切磋琢磨しながら学べる」とアピールできる強力な材料にもなります。人材育成に真摯に取り組む企業姿勢を示す広報の一環としても、ぜひご活用ください。来年度の企画にもご期待いただけますと幸いです。

第2回一八会ゴルフコンペが開催

9月24日(水)、ジャパンエースゴルフ倶楽部にて第2回一八会ゴルフコンペが開催され、23名の皆様にご参加いただきました。

今回の栄えある優勝は、浅野運輸倉庫㈱ 代表取締役会長 浅野 邦彦 様が獲得されました。おめでとうございます！

次回 第3回一八会ゴルフコンペは、2026年2月25日(水)に新年会と合わせて開催予定です。皆様のエントリーを心よりお待ちしております。



左：浅野氏 右：一八会会長の福田氏

「京都橘大学」「立命館大学」見学会

技術委員会主管で、大学の見学会を開催しました。同委員会では、理工系大学との連携強化を掲げており、その具体的な取組として京都橘大学と立命館大学の2大学で開催しました。

京都橘大学見学会（京都橘大学情報学教育研究センター）

9月11日、京都橘大学情報学教育センターとの共催で、研究施設の見学会を開催しました。滋賀県からも近い同大学には、県内から通う学生も増えており、来年4月には新たに3つの学科を新設するなど、教育分野を更に拡大させています。

開会挨拶では、松原仁センター長から共同研究や学生の就職先として、企業との連携を強化していきたいとのお話があり、今回の見学会が会員企業と同大学との関係を築く、良い機会となりました。

当日は、情報学リスクリング講座の紹介や研究内容の説明、研究施設の見学を行いました。特にiCS研究デザインスタジオの見学では、学生から直接研究内容についての話を伺うことができ、参加者からは“学生たちの研究が全て実用的で参考になった”と非常に好評でした。またイベントの最後には、キャリアセンターの方にも参加いただき、名刺交換の時間が設けられ、会員企業と同大学の今後の連携に向けた第1歩となりました。



立命館大学見学会（グラスルーツイノベーションセンター・立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ）

10月7日、びわこ・くさつキャンパスに新設されたグラスルーツイノベーションセンター(GIC)と立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ(CVIC)の見学会を実施しました。

GICは、学生、研究者、企業、地域がつながり、社会課題の解決を目指す新たなオープンイノベーション施設です。地域に根ざした研究・実践を支援し、大学発スタートアップ創出と社会実装を加速させる役割を担います。一方、CVICは、リアルとバーチャルが高度に融合する社会における心身の変化やELSI(倫理的・法的・社会的課題)などを研究する「身体圏研究」を推進する施設です。テニスコート2面分の広さを持つX-Verse(クロスバース)アリーナなど最先端の設備を備え、学際融合による新たな学術領域を切り開きます。この両施設が連携することで、研究成果の社会実装を加速させることができます。

見学会では、高山副総長から最新施設の概要と、立命館大学が目指す未来についてお話いただき、続いてGICへの入居を予定している加古川先生による研究事業の紹介が行われました。その後、GICとCVICを見学し、最後に活発な意見交換が行われました。

参加者からは、「社会課題・地域課題の解決につながるイノベーションの機会創出や学びの場を提供されていることに感銘を受けた」との感想が寄せられ、最先端の施設そのものに加え、立命館大学が地域や社会と共に目指す取り組みに大きな刺激を受けた様子が伺えました。

GICに関する詳細は、本号の経産協ニュース「近江の大学クローズアップ」も併せてご覧ください。



価格転嫁・取引適正化に関する取組について

政府は、「賃上げこそが成長戦略の要」との考え方に対し、賃上げ原資確保の重要な要素である価格転嫁・取引適正化を推進しており、9月4日付で経済産業大臣から「【要請文】価格転嫁・取引適正化の今後の取組について」が発行されています。その概要を以下にまとめましたので、会員企業の皆さんのご理解・ご協力をいただきたいと、お願ひいたします。要請文の原文は次のURLに掲載されていますので、ご覧ください。

 <https://www.jppf.gr.jp/jppf/wp-content/uploads/2025/09/48e9c1a11b186a48b39c45f2b0043e9e.pdf>

1. 改正下請法が2026年1月施行

改正下請法が2026年1月1日から施行されます。略称も「下請法」から「中小受託取引適正化法(取適法)」に変わります。

【法改正のポイント】

- 適用対象の基準として従来の資本金に加え、従業員数が追加され、適用対象が拡大。従業員数300人(役務提供委託等は100人)で区分される。
- 対象取引に、製造、販売等の目的物の引渡しに必要な運送の委託を追加。
- 代金に関する協議に応じないことや一方的な代金の額の決定の禁止。
- 手形払を禁止。また、支払期日までに代金相当額を得ることが困難な支払手段も併せて禁止。

法改正の内容が「中小受託取引適正化法ガイドブック」に分かりやすくまとめられていますので、次のウェブサイトをぜひご参考ください。

 <https://www.jftc.go.jp/file/toriteki002.pdf>

下請法に違反した企業に対し公正取引委員会が再発防止等の勧告を行ったとの報道もなされています。調達部門はもちろん、関係する役員・従業員が下請法(改

正後は職適法)を理解し、遵守することが求められています。

2. パートナーシップ構築宣言の推進

パートナーシップ構築宣言とは、事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から、「代表権のある者の名前」で、下記(1)(2)を宣言するものです。

(1)サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携
(2)取引先企業との望ましい取引慣行の遵守

すでに全国で78,613社、滋賀県677社(9月26日現在)が宣言・登録しています。宣言・登録することは、社会から信頼を得る要素の一つであり、また、補助金の加点等の優遇措置を受けられる等のメリットがあります。

詳しくは「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイトをご参照ください。

 <https://www.biz-partnership.jp/index.html>

3. 間接的な経費を価格交渉の対象とする検討

原材料費、エネルギー費、労務費だけでなく、間接的な経費(警備、ビルメンテナンス、広告等)について、価格転嫁・交渉の対象とするか検討をお願いいたします。

来月は過労死等防止啓発月間

毎年11月は、過労死等を防止することの重要性について社会の关心と理解を深めるため“過労死等防止啓発月間”とされています。

労働局では、「過重労働解消キャンペーン」として、セミナーの開催、長時間労働の是正や賃金不払残業などの解消に向けた重点的な監督指導、一般の方から相談を無料で受け付ける「過重労働解消相談ダイヤル」などを実施されます。また、「過労死等防止対策推進シンポジウム」も開催されます。

長時間労働の削減、生産性の向上につながるよう働き方を見直す機会、また、“取引先の従業員に長時間を強いていないか”という観点でも考える機会にしていきましょう。

- セミナー URL : <https://shuugyou-seminar.mhlw.go.jp/kajyu-kaishou/>
- シンポジウム URL : https://www.mhlw.go.jp/karoshi-symposium/page_shiga.html





センター外観



入口のルーバーには
ある角度から見たら
立命館の「R」ロゴが
見える仕掛けが!



1F ↑壁に並んだ3Dプリンタ。あらゆる人が気軽に試作ができる、地域に開かれたファブラボや、関心が近い人材のマッチングが出来るコワーキングスペースなど。

**2F**

スタートアップ
ラウンジ
ラボ

起業を志すシード期からアーリー期にかけての拠点として。入居者が専門分野を越えて交流できる共用実験スペースを設けています。

起業を志すシード期からアーリー期にかけての拠点として。入居者が専門分野を越えて交流できる共用実験スペースを設けています。

大学の人々や企業と連携し、
大学の研究活動を通じて社会課題を解決。事業化することで継続的な社会還元に結びつけることを目指しています。

①大学の力(知)で地域へ貢献
②学生や研究者の起業を支える
の2点です。

滋賀県草津市の立命館大学
びわこ・くさつキャンパスに新施設「グラスルーツイノベーション
センター」が誕生しました。
主な目的は

次のニーズを生む施設

草の根(glass roots)から新しい価値を創造する

グラス ルーツ

イベント・試作・ブーストに 起業を目指す活気ある場所

求む、滋賀の連携企業

グラスルーツとは正に草の根。

「地域との連携」を掲げた施設です。滋賀には力のあるモノづくり企業や、新しいことにチャレンジする進取の精神を持った企業が数多く存在します。

●既存の事業を深化・進化させる

そんな時は是非、GICで新たな価値を見発見してください。立命館大学が誇る知とアイデアが、世に出るきっかけを得て胎動しています。共に地域社会、世界の課題解決に取り組む、パートナー企業をお待ちしています。

GIC
GRASSROOTS
INNOVATION
CENTER

↓GICについてお問い合わせはこちら

startup@st.ritsumei.ac.jp



↑お問い合わせ
メール

↑センターHP

R 立命館大学
グラスルーツイノベーションセンター
RITSUMEIKAN
UNIVERSITY 滋賀県草津市野路東1-1-1

44年ぶりの快挙!滋賀県が天皇杯・皇后杯を獲得

「わたSHIGA輝く国スポ」成功裏に閉幕、県内に大きな感動と経済効果

9月28日から10月8日まで開催された「わたSHIGA輝く国スポ(第79回国民スポーツ大会)」が、県民の大きな歓声の中閉幕しました。開催県である滋賀県は、男女総合成績第1位の「天皇杯」と女子総合成績第1位の「皇后杯」を44年ぶりに獲得する歴史的快挙を成し遂げました。1981年の「びわこ国体」以来となる栄冠は、県全体に大きな感動と誇りをもたらしました。また、開催県が1位となるのは、天皇杯・皇后杯ともに4年ぶりでした。



県民の力が結集、歴史的な総合優勝へ

滋賀県選手団は、大会を通じて各競技で目覚ましい活躍を見せ、目標としていた天皇杯・皇后杯の同時獲得という最高の成果を成し遂げました。

この歴史的な快挙は、選手一人ひとりの卓越したパフォーマンスとチーム一丸となった総合力はもちろん、大会運営を献身的に支えた多くのボランティア、そして沿道や会場から送られた県民の皆様の温かい声援が大きな力となりました。選手、スタッフ、県民が一体となった「チーム滋賀」の力が、この歴史的な勝利を掴み取ったのです。

大会のフィナーレを飾ったのは、10月8日に彦根市の平和堂HATOスタジアムで行われた総合閉会式です。式典では航空自衛隊の「ブルーインパルス」が彦根城上空で祝賀飛行を行い、選手たちの健闘を盛大に称えました。



経済効果は1,300億円超、未来へ繋ぐ大会のレガシー

今大会はスポーツの祭典であるとともに、地域経済にも大きな活気をもたらしました。滋賀県が2025年3月時点での試算した経済波及効果は、施設整備や大会運営、観客の消費支出などを合わせ、約1,326億円に上ります。期間中、県内には多くの選手・関係者・観覧者が訪れ、宿泊、飲食、観光など幅広い分野で消費が拡大しました。

しかし、大会の成果は一過性のものに留まりません。これを機に整備された質の高いスポーツ施設、県全体で高まったおもてなしの機運、そして県民の間に醸成された郷土への誇りと一体感は、滋賀県の未来を支える貴重な「レガシー(遺産)」です。

私たち経済界もこの成功を糧とし、高まった滋賀のブランドイメージを最大限に活用していくことが期待されます。この感動と成果を未来への活力とし、滋賀県のさらなる発展に繋げていきましょう。

なお、国スポの感動を引き継ぎ、10月25日から27日までの3日間、「わたSHIGA輝く障スポ(全国障害者スポーツ大会)」が開催されます。県民一丸となって、引き続き温かい声援を送りましょう。

総合成績(天皇杯)

天皇杯(成績順)

順位	都道府県名	得点
1位	滋賀	2488
2位	東京	2354.33
3位	京都	1730.5
4位	大阪	1658
5位	愛知	1598.83
6位	神奈川	1505.5
7位	埼玉	1451
8位	千葉	1450.5
9位	福岡	1442.5
10位	兵庫	1338
11位	北海道	1334
12位	岐阜	1298
13位	佐賀	1279.5
14位	福井	1278.5
15位	三重	1138
16位	静岡	1108.5
17位	愛媛	1107
18位	広島	1076.5
19位	長野	1075.33
20位	岡山	1040.5
21位	栃木	1029.5
22位	鹿児島	1010
23位	青森	975.5
24位	奈良	955.5

総合成績(皇后杯)

皇后杯(成績順)

順位	都道府県名	得点
1位	滋賀	1244.5
2位	東京	1128.33
3位	京都	986
4位	愛知	977.33
5位	大阪	909
6位	兵庫	861
7位	千葉	790
8位	神奈川	790
9位	岐阜	784
10位	福岡	739.5
11位	埼玉	733.5
12位	福井	706.5
13位	長野	685.83
14位	青森	666
15位	広島	662.5
16位	佐賀	659.5
17位	岡山	635
18位	北海道	625
19位	熊本	622.5
20位	愛媛	619
21位	三重	603
22位	奈良	602
23位	宮城	593.5
24位	静岡	588.5

山科精器株式会社様が医工共創アワード「最優秀賞」を受賞!!

当会の理事会社である山科精器株式会社(本社：滋賀県栗東市)が、大阪商工会議所主催の「MDF医工共創アワードJAPAN」において、最優秀賞を受賞されました。

同アワードは、医療分野とのづくり企業の連携を通じた優れた成果を表彰するもので、山科精器様は「吸引凝固嘴管」など医療機器の開発実績が高く評価され、今回の受賞につながりました。

同社では、ヘルスケア事業をさらに発展させ、社会に貢献できる取り組みへと育てていきたいとの思いを示されています。

このたびのご受賞、心よりお祝い申し上げますとともに、今後のさらなるご発展を祈念いたします。



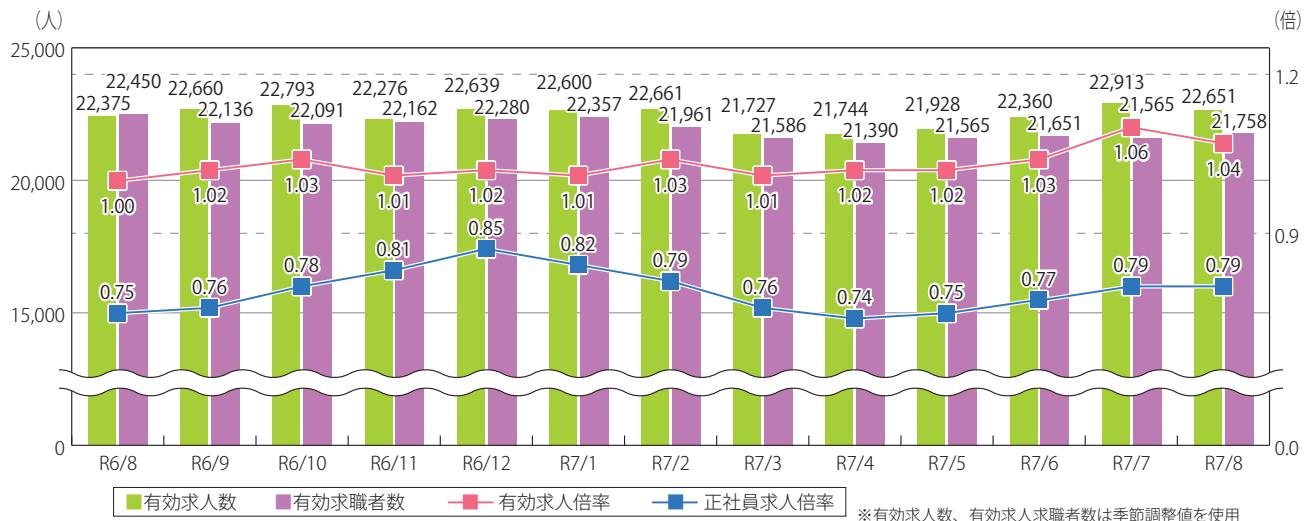
事務局人事



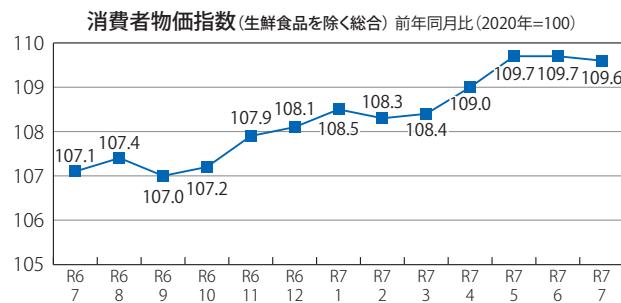
● 教員民間等派遣研修生

10月1日より当協会事務局に滋賀県立北大津養護学校から高城 建太(たかしろ けんた)さんを新たにお迎えいたしました。期間は2026年3月24日までの6ヶ月間です。皆様よろしくお願い申し上げます。

◆◆求職・倍率状況◆◆



◆◆労働経済指標◆◆



◆◆◆労働実務相談室のご案内◆◆◆

相談内容は秘密厳守し、相談料は無料です。お気軽にご相談下さい。



■相談日：毎月1回(原則第4水曜日(14:00～16:00) 祝日の場合は木曜日)

■弁護士：アクシス法律事務所 置田文夫氏

■会場：滋賀経済産業協会内 <コラボしが21 5階>

※相談予約は、必ず2日前に事務局までお申込下さい。(TEL: 077-526-3575)

事務局だより <11月の主な行事予定>

会議名	開催日	会議名	開催日
ハノイ工科大学ジョブフェア	11月1日(土) ～2日(日)	未来のチャレンジャー育成研究会	11月12日(水)
関経連・京都滋賀会員懇談会	11月4日(火)	守山北高校見学＆交流会	11月14日(金)
品質保証研究会	11月6日(木)	社会人が習得すべき必須スキルⅡ研究会(3回目)	11月17日(月)
IoTの基礎を学ぶ研究会	11月7日(金)	共創型リーダー育成研究会	11月18日(火)
スリランカ・シンガポール2025 経済視察	11月8日(土) ～13日(木)	地域別会員懇話会(高島地区)	11月19日(水)
社会人が習得すべき必須スキルⅡ研究会(2回目)	11月11日(火)	社会人が習得すべき必須スキルⅢ研究会(1回目)	11月20日(木)
		人活×人事・労務研究会	11月21日(金)
		現場見学研究会(株式会社デンソー安城製作所)	11月26日(水)



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー
- インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷